

乳がん経験者、医療関係者ら 38 名が  
TBS「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」について  
内容見直しを求める要望書を提出！

TBSが20代・30代の女性を対象に2008年から行っている乳がん検診キャラバンについて、その年代の女性に対するマンモグラフィー検診ならびに超音波（エコー）検診は有効性が確認されていないとし、本日、2010年6月9日、有志38名が、内容の見直しを求める要望書を同社に送りました。

がん検診は、早期発見によってがんで亡くなる人を減らす効果があると証明されたものでなければ、過剰診断など受診者に不利益ばかりを与えてしまう恐れがあります。

若年層の検診に関わる科学的根拠が明らかになり、世界的にもガイドラインなどが見直されつつあるなか、我が国においては、がんの啓発運動が高まりを見せる一方で、がん検診を科学的根拠に基づいて行う必要性が十分に理解されていません。年齢に応じた検診受診の啓発など、国民に向けて正しい情報が広く発信されていないのは憂慮すべき事態です。

本要望書は、TBSにキャラバン実施内容の再考を求めると同時に、今後若年性乳がんと闘う人々の希望につながるような研究・開発、啓発活動が展開されることを願って提出されたものです。

要望書を提出したのは、乳がん経験者、医療関係者、がん患者支援者、ジャーナリストなどからなる有志38名。がん医療を取り巻くさまざまな立場の人間が、1つの問題に対して共に声をあげたという点でも注目されます。

【配付資料】

- ・ 要望書（2枚）
- ・ 公開質問状（1枚）
- ・ 要望の根拠に関する添付資料（3枚）（計6枚）

【プレスリリースに関する問い合わせ先】

NPO 法人がんネットジャパン内

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」の内容見直しを求める要望書提出担当者

〒113-0034 東京都文京区湯島1-6-8 中央自動車ビル7F

電話：03-5840-6072 ファックス：03-5840-6073

E-mail：kenshinyoubou@gmail.com

要望書は下記ホームページにて公開中

<http://www.cancernet.jp/kenshin/index.html>